

## 電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	離散情報構造特論		
英文授業科目名	Advanced Topics on Discrete Information Structure		
開講年度	2007年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-情報通信工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	情報通信工学専攻		
担当教官名	安藤 清, 石上 嘉康		
居室	西1-404(安藤), 西1-415(石上)		

公開E-Mail	授業関連Webページ
	<a href="http://suzusiro.ice.uec.ac.jp/">http://suzusiro.ice.uec.ac.jp/</a>

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>理論計算機科学のベースとなる、離散数学を主題とする。          有限で離散な対象(有限グラフ、有限超グラフ、整数、その他)を研究する学問である。          素朴に考えられる基本的な問いが、深い考察を必要とし、その本質的な姿かたちを変えて、最後に攻略される様を体験する。</p> <p>有限・離散の対象に関する問題に対して、確率論的または解析学的技法や視点を通じてアプローチする。ほかのさまざまな分野と有機的に関係している様を見る。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
学部低学年の線形代数学、微分積分学、離散数学。(必要に応じて定義から立ち返って復習するので個別の知識を覚えている必要は無い。が、集合や関数の記法に慣れ、論理の展開を追うことにある程度慣れていると、聴講者自身が楽である。集まった聴講者の要請に応えます。)

<b>【教科書等】</b>
特になし。

## 電気通信大学 平成19年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

第一回目の講義で、ガイダンスを行った後、素朴に述べられる基本的な問いを投げ、それについて数回にわたって考察を深め、最後に結論を引き出します。これを2 - 3巡ほどするはずです。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席とレポートで評価します。  
詳しくは講義初回で質問に答えます。

### 【オフィスアワー：授業相談】

水曜日 16:15 - 18:15 . 西1 - 4階、担当教員の居室(404, 415)

### 【学生へのメッセージ】

質問は歓迎します。居室のドアをノックしてください。

### 【その他】